

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いします。

本年もいろいろな情報をドンドン発信しますので
どうぞよろしくお願いします。



牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

1 全酪新報 1月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスンその91 飼養管理改善に泌乳曲線

乳牛個々の乳量を分娩後日数でグラフ化したものを泌乳曲線といいます。検定成績表に表示された泌乳曲線の活用方法を解説しています。

2 LIAJニュース11月号 (一社) 家畜改良事業団

新しい牛群検定成績表について(その69) いろいろな乳量②

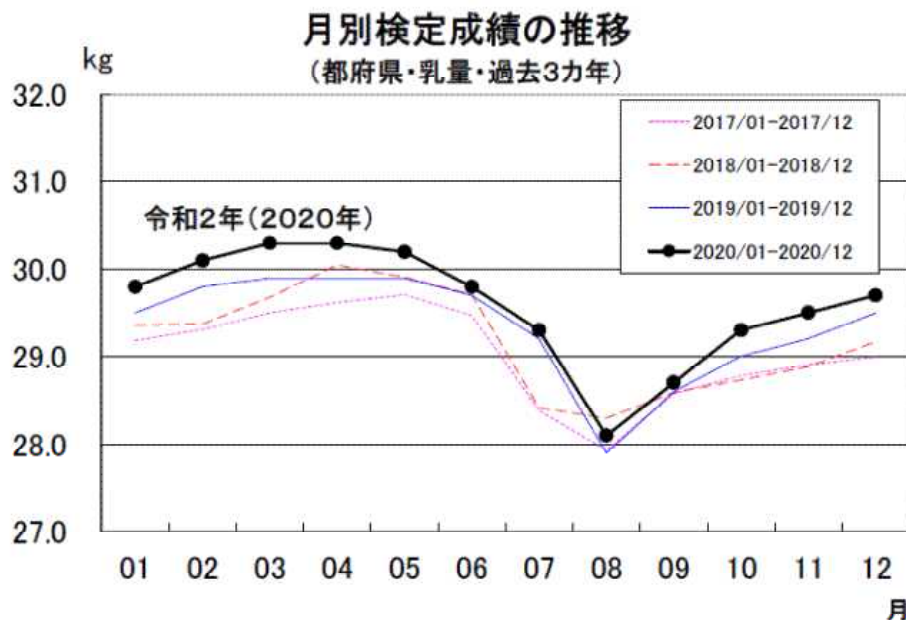
305日乳量などの計算方法や活用を解説しています。

[検定成績表見方](#) [検索](#)

泌乳量が好調です。成績表を確認してみてください！

令和2年1～12月の乳量は、夏季に一時期落ち込みましたが、期間を通じて前年を上回り極めて良好に推移しています。例年の都府県の乳量推移は、毎年2～5月ごろが最も乳量が高くなる季節です。6月を過ぎると暑熱の影響と、日長の関係から乳量が下がって行き、8月に底になり、その後回復していくのが通例で、毎年繰り返します。

みなさんのお手許の1月または2月の検定成績では乳量は伸びていますか？もし、乳量がこれまでより低いのであれば、何か乳量を下げる原因があるのかも知れません。検定成績を使ってチェックしてみましょう。



この冬は大変寒いです。寒冷にご注意を！

右図は、当団HPに公表されているカウダスを集計したものです。この12月の気温は、全国各地の気温が昨年より低いことがわかります。乳牛は寒さに強いといわれますが、水道管の凍結、子牛の保温などは、やはり注意が必要です。

<カウダス>

乳牛の頭数で重み付けした気温です。一般的なお天気情報とは異なり、農村部などの乳牛が沢山いる地域の気温が中心になります。

[カウダス](#) [検索](#)

R2年 12月	気温 カウダス					
	平均	前年差	平均最低	前年差	最も寒い日	前年差
岩手	-0.8	▲ 1.3	-4.2	▲ 0.4	-19.0	▲ 2.8
栃木	2.9	▲ 1.4	-2.0	▲ 1.5	-9.8	▲ 1.6
新潟	4.1	▲ 1.2	1.7	▲ 0.2	-5.4	▲ 1.5
愛知	7.6	▲ 1.5	3.6	▲ 2.0	-6.2	▲ 1.6
岡山	3.9	▲ 1.5	-0.5	▲ 1.8	-6.5	▲ 1.1
愛媛	6.3	▲ 1.8	1.8	▲ 1.9	-3.9	▲ 1.6
熊本	5.2	▲ 2.6	-0.2	▲ 3.2	-7.7	▲ 2.8
沖縄	17.8	▲ 0.8	16.2	▲ 0.6	8.1	▲ 5.0

牛群検定！点検シート（その35 泌乳量アップの季節）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！今回は、泌乳量が伸びるこれからの季節のチェックです。

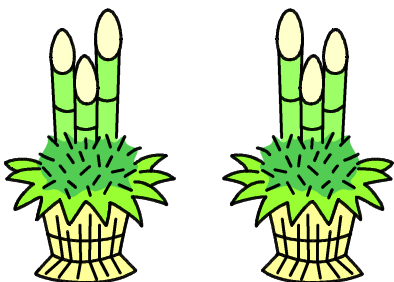
農家コード _____ 氏名 _____

- 1) 前ページの乳量推移の図のように、下図の検定成績の矢印①の10, 11, 12月の乳量は伸びていますか？
Yes No
→No 乳量が伸びない原因をチェックしてください。(下述の2)3)参照)
- 2) 下図の矢印②の搾乳日数が、200日程度（目標は160日）まで延長してませんか？
Yes No
→Yes 繁殖が悪化すると泌乳末期の牛が増えて乳量が減少します。また、分娩が季節的に偏っても同様の傾向が現れます。
- 3) 下図の矢印③の体細胞数が283千個を越えて高くありませんか？
Yes No
→Yes 体細胞数が高ければ乳房炎が蔓延している可能性が高く、乳量が減少します。

乳量が伸びていなければ・・・「寒冷」についてもチェックしましょう！
寒冷による次のようなトラブルは乳量の減少につながります。

- ・水道管の凍結により十分に飲水ができない
- ・牛舎を締め切ったことによるアンモニアやホコリの充満から気管支炎(風邪)の蔓延
- ・敷料不足による冷えから下痢
- ・寒冷による搾乳機器の不調
- ・寒冷による乳頭のシモヤケ(肌荒れ)は、冬季の乳房炎の代表例です。
- ・水分過多な飼料の凍結
- ・除雪作業などによる搾乳間隔の変更

移動 13ヵ月 成績	牛 群 構 成							検定乳量 ／ 出荷乳量	検 定 日 成 績 / 搾 乳 牛 1 頭 平 均							体 細 胞 情 報								
	経産牛	搾乳牛	搾乳率	搾乳日数	分 娩				標準乳量	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	MUN	P/F比	濃厚飼料給与量	体細胞数平均	搾乳牛頭数比率				千/ml 新規頭数	乳量損失率	損失乳代 母当り
					頭数	初産	雌											70以下	71~282	283以上	新規頭数			
検定年月日																								
20.01.11	28	25	91	254	1		1	105	34.7	27.3	4.14	3.50	9.13	12.7	0.85	6.5	264(3.4)	40	24	36	4	1	2	50
20.02.16	26	20	79	268	2	1	2	103	34.6	27.7	3.96	3.47	8.99	13.1	0.88	6.4	380(3.5)	25	50	25	10	2	3	45
20.03.16	28	17	68	208	6	1	2	101	36.2	30.8	3.77	3.36	8.90	11.3	0.89	6.5	381(3.4)	35	35	29	18	3	2	35
20.04.16	27	21	77	149	3			99	35.9	33.7	3.87	3.27	8.83	12.2	0.85	6.3	452(3.3)	38	33	29	5	1	2	43
20.05.14	26	23	89	146	3		1	97	35.8	35.3	3.86	3.17	8.73	11.2	0.82	6.5	385(3.0)	48	17	35	9	2	2	42
20.06.14	27	25	90	158	1			99	35.3	34.7	3.89	3.04	8.61	13.4	0.78	6.6	266(2.7)	48	28	24			2	40
20.07.12	26	22	90	147	3	1	2	102	36.1	36.2	3.84	3.01	8.57	13.4	0.78	7.0	331(2.8)	41	32	27	5	1	2	41
20.08.10	26	22	87	148	2	1	1	102	36.6	36.3	3.53	3.04	8.58	13.6	0.86	7.0	392(3.1)	45	23	22	5	1	2	40
20.09.12	27	25	88	155	1		2	106	37.1	34.9	3.55	3.07	8.78	12.6	0.90	6.9	221(2.9)	4			8	2	1	39
20.10.11	27	26	99	155				102	39.9	37.2	3.50	3.20	8.76	14.2	0.87	6.8	474(3.2)	5			12	3	2	54
20.11.12	26	25	90	185				101	38.7	34.8	3.55	3.32	8.91	12.2	0.86	7.0	373(3.3)	2			32	4	1	40
20.12.09	27	24	90	194	2	1		101	39.3	34.0	3.84	3.29	8.85	13.3	0.86	7.0	194(2.7)	3	17	21	4	1	1	29
21.01.11	27	24	89	210				102	40.5	34.0	3.96	3.41	8.98	13.2	0.86	7.0	306(3.4)	2	29	29	17	4	2	45
平均・計	26.6	23.3	87	180	27	6	11	101	36.8	35.7	3.81	3.22	8.79	12.8	0.85	6.7	342(3.1)	44	27	29	7	2	2	498
前年成績	26.1	23.8	90	184	23	8	7	101	35.3	31.5	3.72	3.22	8.82	12.1	0.86	6.5	321(3.1)	44	31	25	7	2	2	512



今年はウシ年！
よろしくお祈いします！